



神辺西中学校だより

こう よう ざん
黄 葉 山

学校教育目標

挑戦・感動

中学校区のめざす子ども像

- ・自分の考えを持ち伝え合う子（知）
- ・人の気持ちがわかり協力できる子（徳）
- ・健康で粘り強い子（体）

2025（令和7年）2号（5月）

挑戦！スポーツフェスティバル

5月27日（火）第37回神辺西中学校スポーツフェスティバルを開催しました。当初24日に予定していましたが、あいにくの雨。順延となったこの日は雲一つない快晴。スポーツフェスティバルの開催にこの上ない好条件となりました。

今年のスポーツフェスティバルは「変わること」に挑戦しました。

まず、会場です。トラックの向きを90度回転させて、西側を正面としました。多くの保護者や地域の皆様に「生徒たちの頑張る姿を正面から見ていただきたい。」「生徒たちの真剣な表情を近くで見ていただきたい。」という思いからの変更でした。当日はトラックぎりぎりまで保護者のみなさんが近づき、スマホやビデオカメラなどで撮影する姿が見られました。いかがでしたでしょうか。



本年度のスポーツフェスティバルは「生徒が考え生徒が行動する」という本来のあるべき姿に挑戦する行事をめざしました。

練習の段階から教師からの指示はできるだけなくし、団長を核とした生徒が練習内容の設定から、練習の運営、休憩の取り方の判断などそのすべてを生徒の手で、生徒の判断で行っていきました。

生徒が「考え」「判断して」「行動する」取り組みをとおして、スポーツフェスティバルのさまざまな場面において生徒がお互いに声を掛け合い、互いを思い合って行動する姿が見られました。生徒が決めたこの会のテーマ「FOR YOU」に迫るものとなったのではないかと思います。

学校という空間がすべての生徒にとって安心できる場所となるためには、学校に関わる全ての人々が「FOR YOU」自分以外の人のことを思いやる気持ちを持つことが大切なのだと思います。スポーツフェスティバルでの本校生徒の姿は、これからの神辺西中学校に期待を持たせてくれるものでした。

生徒のみなさん、これからも

「FOR YOU」

を大切に生活してください。



“年中夢球”

元プロ野球選手による野球教室を開催しました

5月25日（日）元プロ野球選手による野球教室を開催し、本校野球部18人と神辺小学校から児童3人が参加して指導していただきました。

当日は、元千葉ロッテマリーンズの投手であった植松優友さんをお招きしました。植松さんは高校3年の時、夏の甲子園に向けた大阪大会決勝で中田翔選手（現中日ドラゴンズ）が所属していた大阪桐蔭高校を破り甲子園に出場した投手です。



植松さんからはキャッチボールの基本や投球するとき意識すべきポイントをわかりやすく丁寧に指導いただきました。正しいフォームが自然とできるようになる練習方法やチェックの仕方など、後の練習でも活用できるものばかりでした。

また、当日は多くのプロ野球選手やオリンピック選手をメンタルトレーナーとして支え、メンタルトレーニングについての多くの著書がある著名なメンタルトレーナーの高畑好秀さんにも御来校いただき、生徒へのアドバイスをいただきました。

本会の開催には株式会社サンエス様をはじめとした多くの企業からの支援を受けた（株）ウーブル・ロールモデル研究所のご提案で実現したものです。

福山地区中学校春季体育大会が始まります

5月31日（土）を皮切りに、福山市内を中心に運動部の春季大会が開催されます。

多くの種目が全国大会に続く唯一の大会となっており、この大会で敗れると三年生は事実上の引退となります。三年生にとっては全国大会をめざす唯一の、そして最後の大会となります。

3年生には中学校に入学して二年以上取り組んで身に着けた力や技術を十分に発揮してもらいたいと思います。そこで、壮行式で次のようなエールを送りました。

- 今持てる力以上のものは出ない。練習でできるようになっていることしかできない。
- 動揺したり、緊張したりして力が発揮できない原因はすべて自分の中にある。
- 自分をコントロールできるのは自分しかない。

だから

☆自分がコントロールできることに集中しよう！



普段の生活において人間関係がうまくいかない要因の多くは、自分の思うように相手を変えようとする点にあるのではないのでしょうか。変わらない相手を変えようとするればそこに軋轢が生まれ、トラブルはより大きくなるものです。

ふだんから自分のコントロールできることに集中する習慣があれば試合や入試など緊張したり不安になったりする場面でも「今、持てる力」を発揮できる人になるはずです。そして、そのような人は対人関係もうまくいくのではないのでしょうか。